

# 商店街サポーター創出・活動支援事業 成果発表

インバウンド対策の切り札「ナイトカルチャー」を商店街が提供し、従来の商圈範囲や来街者層を広げることで集客力向上を目指しました。

「ディープな大阪ナイトカルチャーへようこそ」

Entertainment of The Deep Osaka area of Japan to be able to enjoy at night

2020.03.23

---

ことなび株式会社

# 萩之茶屋本通商店街振興組合 飛田本通中央商店会（動物園前2番街）

萩之茶屋・新今宮地区に位置し、現在は高齢者の買い物客の多い商店街です。

- 海外からの観光客が急速に伸びている地域(年間50万人以上)
- 交通の要衝JR・南海・地下鉄が集中



## 商店街の状況と問題意識

商店街は現在、新たな顧客である外国人観光客を取り込めておらず、積極的なアプローチが求められている。

一方、商業集積地として、周辺の阿倍野地区や新世界地区との競合も激しい中、当該地区「萩之茶屋・新今宮地区」の存在感を確立するためには、2商店街がタッグを組んで魅力の創造・発信に取り組む必要がある。

## 商店街の課題

- ① 宿泊客との時間のミスマッチ
- ② 宿泊客への情報のミスマッチ
- ③ 事業に取り組む商店街の足腰の弱さ
- ④ 事業を推し進める際の説得力の弱さ

解決手法

仮説

## ナイトカルチャー

(多様性溢れる夜型エンターテインメント及び観光メニュー)

夕刻、宿泊所へ帰って来た宿泊客へ地域の「楽しみ方」を提供する  
また、ナイトカルチャーの実施を通じて、商店街の課題への対応を実現する。

## 萩之茶屋・新今宮地区には歴史がある

### てんのじ村の歴史

この地域には、戦前から戦後にかけて数多くの芸人が住んでいた。碑も存在します。  
現在も、様々な芸ごと、芸人・団体が活動しています。

地域の財産である、大衆芸能・日本文化を中心に  
幅広く体験型のナイトカルチャーを提供する。  
(日本舞踊・三味線・尺八・ちんどん屋など)

和文化のプロデュース経験のある日本舞踊ダンサー梵玉を塾長に迎え、商店街の店主や塾生が、演者とともに、「人材育成塾」(講座・実学)で学びながら商店街で「ナイトカルチャー」を提供する仕組みを構築しました。

※塾生＝公募で集まった地域(萩之茶屋・新今宮地区)の活性化に関心のある方たち

### ・講座〔平日夜間〕

塾長、演者、専門的な知見を持った方等を講師とし、てんのじ村の歴史と大阪の芸事、イベント開催に必要なスキル、外国人向けプログラムの企画立案法外国人観光客への情報発信手法等を学ぶ。

### ・実学(実演)〔週末夜間〕

商店街内店舗等を活用し、実際に外国人観光客を相手に行う公演に、塾長、演者等とともにスタッフとして参加し、講座で得た知識を活用し実践し、スキルを身に付ける。

## こんなことに取り組みました（一覧）

6

月	講座/実学	日程	曜日	時間	場所	内容
8月	プレ講座	8月25日	日	15:00～16:00	白木屋	簡宿オーナーなど関係者への事業説明 塾生へのオープン講座
9月	講座	9月6日	金	18:00～20:00	山王集会所	事業オリエンテーション てんのじ村や新今宮の歴史・大阪の芸事
	実学	9月14日	土	18:00～20:00	ココルーム	日本の年中行事であるお月見を楽しみます。 月見を題材にした演芸・月見団子・月見
10月	講座	10月3日	木	18:00～20:00	山王集会所	イベント開催に必要なスキル 講師:辻村忍者堂代表
	実学	10月6日	日	18:00～20:00	白木屋	レトロナイト 日舞 三味線 尺八
11月	実学	11月3日4日	日・月(祝)	未定	廃線跡公園	体験型演芸 ちんどん屋 忍者体験
	講座	11月7日	木	18:00～20:00	山王集会所	外国人観光客へのおもてなし
12月	講座	12月5日	木	18:00～20:00	山王集会所	外国人向けプログラムの企画立案法 テーマ:広報・集客・動画活用 ゲスト:シャナナTV OWASYS
	実学	12月22日	日	18:00～20:00	ココルーム	冬至にちなんだ和文化を楽しみます。冬を題材にした演芸 銭湯でのゆず湯体験・冬至にちなんだ食
	フォーラム	12月27日	金	18:00～20:00	オーエス劇場	新てんのじ村村立へ向けての課題や期待を整理します。
1月	講座	1月9日	木	18:00～20:00	山王集会所	2月度実学準備 次年度計画
	実学	1月26日	日	18:00～20:00	白木屋	レトロナイト 日舞 三味線 尺八
2月	講座	2月6日	木	18:00～20:00	山王集会所	2月公演準備 次年度計画
	実学	2月23日	日	中止	永信防災会館	次年度へ向けたプレゼンテーション ※新型コロナウィルス感染症の拡大を防止するため中止



歴史、文化、地域資源、集客手法、外国人対応などを「講座」で学びつつ、実際に外国人観光客の前でナイトカルチャーを試験的に実演・提供し、集客方法や外国人に魅力のあるコンテンツを「実学」で学びました。



プレ講座  
 ■8月25日(日)  
 ■白木屋  
 ■内容  
 地域への事業説明  
 塾希望者への  
 オープン講座



月見会  
 ■9月14日(土)  
 ■ココルーム  
 ■内容  
 中秋の名月に  
 ちなんだ  
 月見団子  
 日本の芸能  
 観月



レトロナイト  
 ■10月6日(日)  
 ■白木屋  
 ■内容  
 日本の芸能  
 日本舞踊  
 三味線・唄  
 尺八  
 ちんどん屋



体験型演芸  
 ■11月3日(日)  
 4日(祝)  
 ■動物園前2番街  
 地域周辺  
 ■内容  
 ちんどん屋体験  
 忍者体験



冬至会  
 ■12月22日(土)  
 ■ココルーム  
 ■内容  
 冬至にちなんだ  
 かぼちゃ料理  
 日本の芸能  
 ゆず湯体験



レトロナイト  
 ■1月26日(日)  
 ■白木屋  
 ■内容  
 日本の芸能  
 日本舞踊  
 三味線・唄  
 尺八  
 ちんどん屋

\* 外国人参加者: 累計約20名 (USA、フランス、南アフリカ、メキシコ、イギリス、中国)





『新てんのじ村演芸館』  
 ~大衆芸能・日本文化の披露~  
 出演: 梵玉(日舞)・天晴輝一(尺八)・松浪千静(唄・三味線)他

『山王、西成、そして「てんのじ村」』  
 ~地域の歴史・地理の紹介~  
 話題提供: 水内俊雄(大阪市立大学教授兼地域連携センター副所長)

『フォーラム「新てんのじ村への期待」』  
 ~てんのじ村の昔、今、そしてこれからの未来について~  
 登壇: 難波利三(作家・小説「てんのじ村」で直木賞受賞)  
 林幸治郎(ちんどん通信社代表)  
 村井康夫(西成区商店会連盟会長)  
 コーディネーター: 水内俊雄



\* 塾生、商店街関係、地域の方など約70名が参加

## 取組みが目指したもの

## (1) 宿泊地から観光地へ

新今宮・萩之茶屋地域は、現在、宿泊地ではあるが観光地ではありません。そのため、インバウンドで地元にお金が落ちて波及効果が生まれていないのが現状です。

## (2) インバウンドの効果を地域へ

インバウンドの効果を地域全体で考える。地域が潤うような仕掛けが必要なのではないか。その軸になるのが商店街です。商店街が街の大きな縦軸となり、その周辺へ横へ波及していくような流れを作ります。

## (3) てんのじ村の歴史からこの地域のコンテンツを掘り起こす。

この地域は戦前から戦後昭和の時代に多くの芸人が住んでいました。大阪の大衆芸能を支えた街でもあります。その歴史から掘り起こして再び大阪の大衆芸能をこの地から日本へ世界へ発信します。

## 取組みの成果

## (1) 宿泊地から観光地へ

商店街の中の「外国人観光客は自分の店には関係ない」という無関心店主から積極的な取り組みを自主的に始める機運が生まれている。例えば、商店街内で外国人観光客を積極的に受け入れるための「英語レッスン」「動画配信」「SNSの活用」などの動きなど

※「英語レッスン」: 各店舗ごとの英語での接客に関する課題を解決するロールプレイング型レッスン

## (2) インバウンドの効果を地域へ

商店街の方々だけでなく、地域内外からの塾生の参加、新てんのじ村フォーラムへの地域住民の参加などその土台が作られた。

## (3) てんのじ村の歴史からこの地域のコンテンツを掘り起こす。

大阪市立大学水内教授、小説てんのじ村の著者難波利三氏の参画も得て、「新てんのじ村フォーラム」を開催し、地域の歴史、てんのじ村の歴史を捉えた上で、今後の地域の発展と和 문화の発信について商店街、地域で意識が共有され始めた。

## 個々の取組みの成果

**(1) 人材育成**

「講座」と「実学(実演)」を計13回積み重ねることで、今後の事業継続に向けた人材の確保や講師やオブザーバーに招いた方々とのネットワークづくりが構築できた。

講師: インバウンド集客を実現している事業者代表

オブザーバー: 外国人向けツアーガイド、インターネットTVの経営者、Webを活用したインバウンド集客・課金システム開発者など

**(2) 商店街の情報発信**

各店舗の案内も入った「地域のイラストMAP・案内パンフ」を作成し、配布。また、ホームページやアプリ・SNSでも上記情報を外国人観光客を始め、日本人の来街者に提供・発信し、「ナイトカルチャー」を楽しんでもらうとともに各店舗にも誘導した。

**(3) 組織化**

「新てんのじ村フォーラム」を開催することで、しなやかな組織化ができた。

今後は「新てんのじ村」を事業名として商店街が単独で組織化するのではなく、地域や応援する団体や個人と連携しながら、商店街の活性化、価値を向上させ、さらには地域の価値向上とつなげていく土台ができた。

**(4) データ収集・整理及び本事業の有効性の実証**

大阪市立大学地域連携センター水内教授の指導のもと、既存の資料の他、水内教授が指導する学生の卒業論文へ協力し、①当該商店街周辺のインバウンド観光客の特色  
②当該商店街の通行人(外国人・日本人)を調査し、その成果をまとめた。



動物園前2番街MAP



荻之茶屋本通商店街MAP



## 最大の課題は 外国人観光客への情報伝達と集客

### 取り組んだ対応

- ①外国人観光客が多く泊まる地域の宿泊施設へのアプローチ



8月開催のプレ講座はじめ情報提供を行った結果  
1月の実演でオーナーが外国人観光客を連れてきてくれた。

- ②外国人向けツアーガイドへのアプローチ



継続的な協力依頼を行った結果  
1月の実演で外国人長期滞在者を連れてきてくれた。

### 次年度への対応

引き続き宿泊施設へのアプローチ、ガイドへのアプローチを進める。  
映像を中心としたSNSを活用した情報発信を行う。  
※「インターネットTV局」と協議中

## 個別の事業手法での課題

### ①人材育成塾を通じた商店街で「ナイトカルチャー」を提供する仕組みの構築

課題: 企画立案、広報、集客、実施運営の中心的な業務を担えるスタッフとその育成。

対応: 引き続き、次年度も幅広く(SNSや事業実施時)募集して、事業実施基盤を拡充していく。

### ②商店街の情報発信

課題: 商店街情報と「新てんのじ村」(ナイトカルチャー事業)との連動。

対応: 次年度以降、インターネットTVなどと連携して、情報発信力を強めるとともにナイトカルチャー事業の前後に商店街の各店舗へ来場者が消費するような流れを定着させていく。

### ③組織化

課題: 「新てんのじ村」のさらなる組織化。

対応: 「新てんのじ村」の商店街や地域において果たす役割を明確にするとともに、商店街だけでなく、地域や応援する団体や個人とともにさらなる組織化を目指す。

### ④データ収集・整理及び本事業の有効性の実証

課題: 大阪市立大学水内教授の指導の元、収集、整理したデータの活用。

対応: 商店街内で結果を共有する場を設けるなど、活用を図っていく。

### ⑤事業の目標: 事業を通じた各店舗の売上増

課題: 本事業を通じた売上増の定量的な把握。

対応: 各店舗が売上増を実感できるように事業と商店街からの情報発信を連動させる。

### ①外国人観光客への情報発信・情報提供の重要性

外国人観光客への情報発信をするには、定期的なプログラムの開催が前提になる。定期的であれば、海外向けの情報サイト・予約サイト(Airbnbなど)に掲載も可能となってくる。また、短期の外国人観光客だけでなく、長期滞在者、留学生、就労者へのアプローチも重要。それらの人が本国の人たちにSNSで発信してくれると「プログラム」を目指して来訪してくれる。

### ②満足度の高いプログラム

和文化であれば、外国人だからとことさら日本を強調したり、内容を薄めたりせず、実際に日本で演じられている和文化をそのまま提供することが満足度につながる。

日本舞踊や三味線の鑑賞を中心にしつつも、実際に演奏できる、写真を撮れる、季節感を感じれるような複合された構成が重要。

### ③双方向(観客と演者)性のあるプログラムの重要性

一方通行のプログラムではなく、演者と参加者、参加者と参加者が交流できる仕掛けづくりがリピートにつながる。

一歩進めると地域の住民と外国人(観光客・留学生・就労者)の交流につながる仕掛けが参加者も満足度を高め、外国人には地域の小さな情報(お店情報・他のイベント情報など)が得られ、さらには地域に支えられた継続的な取り組みとなる。

### ■実績を踏まえた事業

#### 新てんのじ村の取組み

今年度の実績を踏まえ、村民(仲間)づくりを広げ、「新てんのじ村」として活動を継続する。(実行会議の中で決定)

※村民(仲間)とは、今年度塾に参加いただいた塾生を中心に、講師やオブザーバー参加者の方々も含めたゆるやかな組織化を図り、事業を進めていく予定。その方々を村民と呼ぶ。

総務省が提唱する関係人口の地域版とも言えます。

#### ①レトロナイト

会場:白木屋(萩之茶屋本通商店街)

日本文化を鑑賞及び体験できるプログラム(有料化で継続させる)

#### ②季節感をベースに構成するプログラム

会場:ココルーム(飛田本通中央商店会(動物園前2番街))

日本の四季・五節句・二十四節気にちなんだプログラムや料理、体験ができるプログラム(有料化により継続させる)

### ■新しい試み

#### ①難波利三著「てんのじ村」英語翻訳プロジェクト

地域の魅力を英語で伝える試みは、外国人へフィットするプログラム開発にフィードバックできる。また、翻訳過程や出版過程を情報発信することで地域の魅力を伝えることができる。

#### ②定期開催の実現

上記①②のプログラムやさらにプログラムを充実させて定期開催を目指す。月1回を毎週1回の開催を目指す。



## アンケートの声

■1月26日(日)レトロナイト 場所:白木屋

参加者の声

音楽、舞踊、そして来場の人々に会えたのが楽しかったです。

(南アフリカ)

座席が狭い感じがしましたが、パフォーマンスは素晴らしかった!

(USA)

日本の文化を観ることができ、すばらしい体験となった。

(メキシコ)

とても良い時間を過ごしました。日本の伝統芸能を見れてうれしかったです。そして、すてきな人々。

(フランス)

チンドン屋も舞踊も初めて間近に見た。この距離感がとても良かった。そのうち自分も外人の旅行客を連れてきたいと思った。

民泊を経営しているので。

(日本)

■12月27日(金)新てんのじ村フォーラム 場所:オーエス劇場

参加者の声

新てんのじ村、これからの活動楽しみです。テレビ・ゲームではなく、人と人の触れ合いの中から生まれる演芸がこれからもますます表に出てくるべき。海外からの観光客ももてなせる街になる実力を街全体で盛り上げてほしい。大いに期待します。

(大阪府在住)

人間のプライドと地域の思いやりという難波先生の言葉が地域の活性化を考えるうえで非常に心に刺さりました。

(奈良県在住)

明治～昭和の流れが聞けてよかった。新しい芸をつくっていくこと。共同の芸術を作っていく場所。新しい流れをつくる。

古き良きを知って若い人たちにつないでいく。

(大阪府在住)

## データ収集

出展:大阪市立大学都市研究プラザ先端都市研究シリーズブックレット21号



図1: 2017年8月～2018年7月においてそのメッシュ内に1時間以上滞在した外国人観光客数

当該地域は調査対象時期に1時間以上滞在した外国人が126.3万人。京橋、鶴橋より多く、大阪城周辺と同じ人数である。



曜日	外国人比率
木曜日	7.4%
金曜日	9.5%
土曜日	9.0%
日曜日	8.3%

動物園前1番街北側入り口における外国人割合約10人～14人に1人の通行人が外国人である。すでに一定の外国人の流入が定着している。



11月3日(日)ちndon屋体験を関西テレビ報道ランナーが取材  
11月18日(月)18:30頃放送

FM大阪「大人の文化村」に本事業塾長梵玉が出演本事業の主旨  
などを語りました。  
3月1日(日)0:00~放送